

「違い」を理解する目を養おう

〔 社 会 学 〕

開講単位： 4単位 担当者： 服部 慶亘

学習目標

我々の生活環境の中には、一見すると同じように見えて実は性格（性質）が異なるものが少なくない。それらを「違い」としてキチンと説明できるような「社会科学的発想の修得」を目指すのが、本講義の目的である。

授業方法

教科書・参考書・プリント・板書を用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・講義する。必要に応じて、視聴覚資料（CD，DVD，漫画類）を多用する。

授業計画〔各90分〕

1回目 講義目的・目標などの確認	14回目 「常識」と「非常識」
2回目 「違い」を理解する視点	15回目 「常識」と「非常識」
3回目 「違い」を理解する視点	16回目 「常識」と「非常識」
4回目 「違い」を理解する視点	17回目 「常識」と「非常識」
5回目 「違い」を理解する視点	18回目 「罪」と「罰」
6回目 「人間」と「動物」	19回目 「罪」と「罰」
7回目 「人間」と「動物」	20回目 「罪」と「罰」
8回目 「人間」と「動物」	21回目 「罪」と「罰」
9回目 「人間」と「ヒト」	22回目 「オマージュ」と「剽窃」
10回目 「人間」と「ヒト」	23回目 「オマージュ」と「剽窃」
11回目 「人間」と「ヒト」	24回目 「オマージュ」と「剽窃」
12回目 「人間」と「ヒト」	25回目 まとめ
13回目 「人間」と「ヒト」	

教科書

『人間生活の理論と構造』夏刈康男（ほか） 学文社

参考書

『補強版ストレス・スパイラル』服部慶亘 人間の科学社

成績評価基準

終講試験（70%）、受講態度（20%）、レポート類（10%）で評価する。なお、全講義回数数の3分の2以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。

E - Mail : hattori.yoshinobu@nihon-u.ac.jp